

## 北海道命名 150 年事業 概要

(留萌振興局)

## 【増毛山道\*推進事業】

平成 30 年度は松浦武四郎が「北海(加伊)道」と提案し、命名されてから 150 年に当たるが、武四郎は 6 回の蝦夷地探検において、留萌管内を 1845 年から 1858 年までの 13 年間に計 4 回往来し、その中で増毛山道を 3 回見分していることから、留萌振興局では、「増毛山道」に着目し、体験トレッキングや山道シンポジウムなどを開催し、武四郎の足跡を追体験する事業を展開することにより、開拓期の歴史・文化遺産としての価値を発信するとともに、次世代への継承を目指す。  
\*増毛山道とは、安政 4(1857)年に開削された石狩市浜益区幌から増毛町別苅に至る 27km の山道。

項目	事業概要	実施時期・場所等
北海道山道シンポジウム 2018 の開催	シンポジウムでは、「松浦武四郎の北海道探査と山道の役割」及び「猿留山道の保全と史跡指定」と題した基調講演、並びに山道の保全や利活用を考えるパネルディスカッションを実施。 講師：北海道博物館 三浦学芸主幹 えりも町郷土資料館 中岡館長, 他	H30 年 8 月 18 日 増毛町文化センター 参加者：約 80 名
増毛山道学習会の実施	山道を次世代へ継承するため、増毛町・石狩市の子供たちを対象に、増毛山道の歴史や自然、測量の歴史等に関する学習会（特別授業）を実施。 講師：いしかり砂丘の風資料館 志賀学芸員 NPO 法人増毛山道の会 渡邊会長, 他	H30 年 7 月 3 日 石狩市立浜益小学校 H30 年 7 月 10 日 増毛町立増毛中学校
松浦武四郎記念トレッキングの実施	松浦武四郎が「蝦夷地第一の出来栄え」と賞賛した増毛山道の記念トレッキングを通して武四郎の蝦夷地探検を追体験する事業として実施。 ガイド：NPO 法人増毛山道の会 渡邊会長, 他	H30 年 7 月～10 月 (計 8 回) 増毛山道 (石狩市～増毛町)
武好駅通解説看板設置及び除幕式の実施	武四郎が設置を命じた止宿所（後の武好駅通）に解説看板を設置し、増毛中学校の学習トレッキングに併せ、除幕式を実施。	H30 年 8 月 23 日 増毛町別苅 (武好駅通跡地)
伊達林右衛門記念標柱の設置及び除幕式の実施	増毛山道開削者である増毛場所の商人、伊達林右衛門氏の偉業を後世に伝えるとともに、山道の魅力アップに繋げるため、伊達氏の業績を記した標柱を雄冬山山頂に設置し、体験トレッキングに併せ、除幕式を実施。	H30 年 9 月 15 日 雄冬山山頂 (石狩市増毛町境界)



山道シンポジウム



記念トレッキング



武好駅通看板除幕式